



春日山地域観光拠点 施設の最適地は？

小林 和孝（市民クラブ）



Q 観光拠点施設の候補地として、4か所を選定した理由を聞きたい。

A 春日山観光の回遊拠点という位置付けを踏まえ、天候等により春日山城跡に行くことができなない場合もその魅力を知ることが出来る仕掛けや、地域にふさわしい景観、様々な移動手段でアクセスしやすい立地などの視点が重要と認識しているが、可能な限り地域の皆様の声を反映したものとなるよう、市民との意見交換で提案いただいた4か所を候補地とした。

Q 候補地決定までの検討事項は何か。

A 各候補地は、民有地であることや、文化財保護法により開発が規制されている史跡の指定区域内であるなどの課題がある。関係する方々のご意見を聞き、検討を進めている。

Q 候補地決定までのスケジュールを聞きたい。

A 現時点では埋蔵文化財センター周辺が最も適当と評価しているが、拙速に押し進めることなく、眺望や景観、他の施設とのアクセシビリティ、土地取得にかかる費用などの検討を深める中で1か所に絞り込み、令和7年度末までに基本構想を策定し、建設地を決定したい。



候補地の一つ、春日橋付近から春日山を望む



带状疱疹ワクチン 接種拡大へ

山田 忠晴（公明党）



Q 带状疱疹ワクチンの定期接種化による、令和7年度の接種率をどの程度と想定しているか。

A これまで、市主体による接種実績がないため、同様に65歳から5歳年齢ごとに実施していた高齢者肺炎球菌ワクチン接種の実績を参考として、接種率を19%と見込んだ。

Q 接種率向上のため、带状疱疹に関する情報発信や疾患啓発、ワクチン接種推奨に向けた取組を予定しているのか。

A 広報上越や市ホームページによる周知に加えて、令和7年度の定期接種の対象者に対し、個別に通知を行うこととしており、その中で、接種を適切に判断いただけるよう、带状疱疹ワクチンの意義や予防効果、安全性などを詳細に示していきたい。

Q 带状疱疹ワクチンの定期接種化に合わせ、50歳以上で対象にならない方の接種費用も市独自で助成し、接種者の拡大を図れないか。

A 带状疱疹の罹患者数が70歳代にピークを迎えることなどの科学的知見に基づき、定期接種の対象年齢が65歳に決定したことから、他の任意接種と同様、助成を行う考えはない。



センター病院 市が支えていけるのか

江口 修一（久比岐野）



Q 基本計画を見直し、改築を2年後に先送りした場合、病院の改築費はどうか。

A 88億円から11.9億円になる見込みである。改築後の病院の収支見直しはどうか。

A 市の財政に長期にわたり重い負担をかけ、市民生活や行政サービスへの影響を与えかねないことを危惧している。そのため、最優先課題として経営改善に取り組むこととしている。

財政調整基金、28億円で大丈夫か

Q 市の貯金である財政調整基金が28億円に減少しているが大丈夫なのか。

A 財政計画における令和7年度末残高見込みと比較して36億円少なくなっており、今後の災害対応等を想定すると、決して安心できる残高ではない。

今冬の除雪費58億円（過去最高）貯金35億円取り崩し
貯金残高28億円 近い将来貯金が無くなる

